

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × 甲南大学 KONAN UNIVERSITY

甲南大学 関西湾岸SDGsチャレンジ 大学生・高校生・地域が輪になって未来へ！

大阪湾・瀬戸内海を囲む5つの市の課題について、甲南大学の大学生と各地域の高校生が連携して解決策を一緒に探る

「関西湾岸SDGsチャレンジ」(主催:甲南大学、朝日新聞社メディア事業本部、後援:神戸市、堺市、和歌山市、徳島市、岡山市)が今年もスタートします。

8月には開催中の大阪・関西万博で、これまでの成果についてプレゼンテーションを実施。

ますます注目が高まる特色ある取り組みを紹介します。

若い視点を生かし 自治体の課題に解決策

「地域の課題をSDGsの視点で考える」をテーマに神戸、堺、和歌山、徳島、岡山の5市の課題解決に取り組む関西湾岸SDGsチャレンジ。地元高校生と甲南大学の大学生が、自治体ごとにチーム編成するのが特徴だ。7月に甲南大学でSDGsや取材方法を学び、各市担当者から提示された地域課題について話し合うグループワークから始まる。課題は環境、子育て支援、交通弱者など多様。大学教員がメンターとして助言する中、論理的思考やプレゼンテーション能力を身につけた大学生と、地元をよく知る高校生が知恵を出し合うことで、より良い課題解決策が生まれ、教育効果も高まる。



OKAYAMA



KOBE

大阪・関西万博 「TEAM EXPO パビリオン」で 関西湾岸SDGsチャレンジの 取り組みを発表します！

TEAM
EXPO
2025

いどう。みらいに。
“共創チャレンジ”



関西湾岸SDGsチャレンジは甲南大学と朝日新聞社で大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジに参画しています。

8月31日(日)の午後4時～4時30分に、大阪・関西万博内・フューチャーライフヴィレッジ内「TEAM EXPO パビリオン」で、

学生らがステージ発表を行い、これまでの取り組みを紹介します。ぜひ、お越しください！



TOKUSHIMA

参加者の声

生物多様性を守る 若い世代の関心をアップ

「神戸市の生物多様性を守る」というテーマに取り組みました。外来生物の生態系への影響を外来生物展示センターで取材。若年層の利用が少ないことが分かり、幼少期に生物への関心を高めてもらうため、動植物観察のワークショップを提案しました。自分の意見を伝えるのは苦手でしたがチームリーダーを務め、メンバーと議論。自ら提案できる積極性が身につきました。

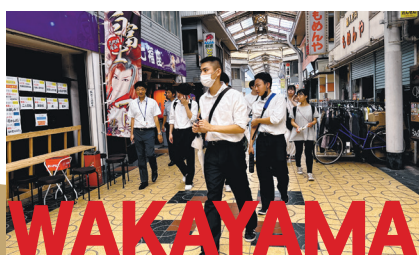
甲南大学 文学部4年
橋本 花梨さん
(2024年度「関西湾岸SDGsチャレンジ」に参加)

参加者の声

少子高齢化を防ぐ 子育て世代にメッセージ

「子育て世帯への堺市の魅力発信を考える」をテーマに、堺市の子育て施設を訪問しました。市の子育て施策は充実しているものの、より認知度を高めるために、駅での広報強化と行動経済学のナッジ理論を使った市のWEBサイトの改善を提案しました。大学で学んだ経済学からアイデアを出し、高校生を含むメンバーと活発に意見交換。協調性が培われ、他の活動でもリーダーシップを発揮できるようになりました。

甲南大学 経済学部3年
川崎 七帆さん
(2024年度「関西湾岸SDGsチャレンジ」に参加)



WAKAYAMA

参加者の声

コミュニケーション能力が向上 探究活動にも役立つプロジェクト

2人とも立候補して神戸チームのサブリーダーになりました。自分たちから大学生に積極的に話し掛けることで、コミュニケーション能力が向上。フィールドワークの経験が、高校での探究活動にも役立っています。大学生は見識が深く、意見もまとまっていて、学ぶことが多かったです。自分たちももっと勉強しなければと向上心を持って頑張っています。

甲南高等学校 3年
有吉 勇人さん
(2024年度「関西湾岸SDGsチャレンジ」に参加)

甲南高等学校 3年
山際 真太郎さん
(2024年度「関西湾岸SDGsチャレンジ」に参加)



SAKAI

年を追うごとに大きな成果 新しい提案が各地域にも活力

2018年に始まり、今年で8年目を迎えた関西湾岸SDGsチャレンジ。大学生と地元高校生が地域の課題解決に向けて考え、提案するPBL(問題解決型学習)は、大学と自治体の新たな連携の形としても注目され、大きな成果を上げてきた。プロジェクトリーダーの阿部真大教授は「自治体の課題が見えやすくなり、プロジェクトの成熟を感じます。学生たちは世代も異なるさまざまな人たちと出会い、協働作業を通して、自ら考える力を養っていきます。現地で実際に課題を目の当たりにすると学ぶ意欲は一気に高まり、フィールドワークの大切さを毎年実感します」と話す。

これまでのプロジェクトの中には、神戸市の放置竹林問題に挑み、学生たちの提案が実装されたケースも出ている。そして今も市のサポートを得ながら、課題解決に向けて学生たちの自主的・継続的な活動につながっている。阿部教授は「自治体の方の評価は高く、積極的に耳を傾けていただいています。大阪・関西万博でSDGsの機運が高まる今年、どんなアイデアが出てくるか楽しみです」と声を弾ませる。

自治体の声(和歌山市役所)

学生の着眼点と行動力に驚き 和歌山市でも発想に注目

和歌山市は2018年に甲南大学と包括連携協定を締結し、市の重点課題を学生が自分事として促え、学生の違った視点からの解決策の検討を期待してプロジェクトに参加している。

昨年度は「空き家問題」がテーマ。地域住民と市を訪れる観光客の交流拠点として空き家を活用する案が学生から提示され、「着眼点がばらばらしく、学生がSNSを開発するなど行動力にも驚いた」と市担当者は語る。自治体だけでは思いつかない豊かな発想力、大学生と一緒に活動することで高校生が気づいていない地元の魅力を再認識できるのも利点であり、「地域と関わり続けるきっかけの一つになれば」と期待している。

※8月31日(日)の大阪・関西万博内「TEAM EXPO パビリオン」(中央参照)で事例を発表予定。



移住者にインタビューする学生たち
(2024年度の活動から)

2026.4
KONAN進化型理系 始動

理・学・工・で未来をつくる

特設サイトはこちら

理工学部

New 環境・エネルギー工学科 / Renewal 宇宙理理学・量子物理工学科 / Renewal 物質化学科 / 生物学科

知能情報学部

知能情報学科

フロンティアサイエンス学部

生命化学科

甲南大学

事前申込制

OPEN CAMPUS 2025

夏期 8/2 Sat 3

秋期 9/14 Sun

8/2 限定

Special Guest

人気の教育系YouTuber
ヨビノリたくみ氏

甲南大学 KONAN UNIVERSITY

お問い合わせ先 アドミッションセンター
〒658-8501
兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1
TEL: 078-435-2319
Mail: ao@adm.konan-u.ac.jp

岡本キャンパス
文学部/理工学部/経済学部/法学部/経営学部/知能情報学部/グローバル教養学環「STAGE」
阪急「岡本」駅徒歩 約10分 | JR「摂津本山」駅徒歩 約12分

西宮キャンパス
マネジメント創造学部
阪急「西宮北口」駅徒歩 約3分

ポートアイランドキャンパス
フロンティアサイエンス学部
神戸新交通ポートアイランド線(ポートライナー)
「計算科学センター」駅徒歩 約3分

甲南の入試が変わる!!
Check! 甲南Ch.
甲南を知って、甲南へ行こう。